

動物プランクトン



成長



成長



ノープリウス幼生

多くの甲殻類の赤ちゃんの総称。将来あごや触覚になる部分で水をかいて泳ぐ。

キプリス幼生

フジツボのノープリウス幼生が成長した姿。餌は食べず、成長に適した付着場所を探し回る。



ネクトキータ幼生

ゴカイ類の幼生。成長するにつれて細長いゴカイの姿になる。

成長

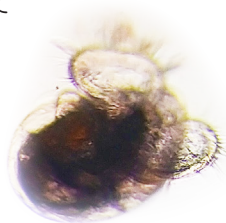


ゾエア幼生

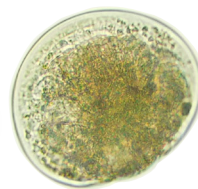
カニやエビの仲間の幼生の総称。分類ごとに形も餌も様々。胸部にある肢で泳ぐ。

メガロバ幼生

カニのゾエア幼生が成長した姿。腹部にある肢で泳ぐ。



巻貝



二枚貝

ベリジャー幼生

貝類の幼生。繊毛とよばれる細かい毛を動かして泳ぎ、植物プランクトン等を捕る。

ベントス



コウマ類

日中は泥に潜っているが、夜になると水中を泳ぎ回る。



ワレカラ類

海藻や岩にくっついて生活するため、泳ぎは苦手。



ドロクダムシ類

立派な触覚が特徴。泥で作った管状の巣の中で暮らす。



タナイス類

モジモジと歩く。砂などで作った管状の巣で生活する。

植物プランクトン



珪藻類

ガラス質の殻をもつ。陸上植物同様、光合成を行う。

渦鞭毛藻類

鎧のような殻をもち、鞭のような毛で泳ぐ。他の生物を食べる種もいる。

魚に寄生するマイクロ生物

魚をよく見ると、体表面やエラに生物がついていることがあります。これらは魚から一方的に栄養分を吸い取って生活する「寄生生物」です。



ウオジラミ類

主に魚の体表面に寄生しています。カイアシ類に分類されます。



ウオリエ類

魚の体表面や、エラ、口の中に寄生しています。写真はまだ幼い個体です。



浦安三番瀬の
ミク **ロ**
生物図鑑
 入門編



浦安市 三番瀬 環境観察館

浦安市 **三番瀬環境観察館**

〒279-0013
 千葉県浦安市日の出7丁目9番1号
 TEL・FAX 047-711-1601
 sanbanze@city.urayasu.lg.jp



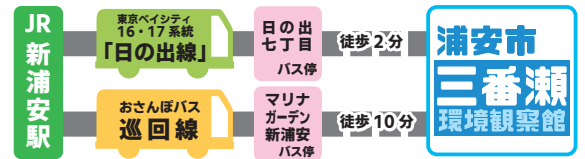
HP:www.ces-net.jp/sanbanze/

施設案内

開館時間 **9:00-17:00**

- 休館日
- ・月曜日（休日の場合は翌平日）
 - ・休日の翌日（日曜日及び土曜日の場合は翌平日）
 - ・12月29日から翌年の1月3日までの間

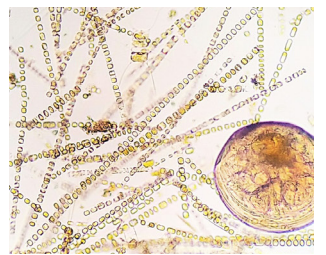
アクセス



小さな生物が海を支える

三番瀬の海は茶色く濁っているのに「生物がない」と思っている方も多いかもしれません。しかし、その濁った水を観察すると数え切れないくらいたくさんのマイクロ生物で満たされていることに気付くはずですよ。

このマイクロ生物たちは小魚など海中の生物のエサになることはもちろん、死んだり糞になっても海底のゴカイやナマコなどのエサとなって生態系を支えています。そんな大きな役割を担う小さな生き物を観察してみましょう。



↑三番瀬の海水（150倍）

海洋生物の生活いろいろ

海の生物はどのように生活しているかで、3つのグループで呼ばれています。海で観察できるマイクロ生物は小型のプランクトンかベントスです。魚やウミガメなど高い遊泳能力を持つものはネクトン（遊泳生物）と呼ばれます。

プランクトン（浮遊生物）
 遊泳能力が低く、水中を漂って生活する生物です。小型生物のイメージがありますが、クラゲなど大型のプランクトンもいます。

ベントス（底生生物）
 砂や泥、岩などの表面やその中で生活する生物です。貝やカニがその代表で、幼生期にはプランクトンで過ごし、波に乗って広く移動するものもいます。